

東北文教大学・東北文教大学短期大学部 図書館報

発行 東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館 〒990-2316 山形市片谷地515 ☎023-688-7544

目次

- 地域がもつ文化力…………… 1
- 私のおすすめ本…………… 3
- 平成22年度 図書館報告 …… 4

地域がもつ文化力

総合文化学科教授 菊地和博

過去になった趣味

私の現在の趣味は、やきものを鑑賞したり、和紙を収集したり、犬や猫とたわむれ、水槽の中の魚たちを飽きもせずながめることです。

そのほかにも、過去に趣味としたものがあります。それは地域の祭り・芸能を楽しんだり、年中行事や庶民信仰などの民俗文化に親しんだりすることでした。でも、今となってはこのような「民俗もの」は自分の職業となり、それを「飯のタネ」にしているかぎり趣味とはいえなくなりました。趣味を職業とするなんて、ちょっとうらやましく思われるかも知れません。しかし、なかなかどうして、それはそれで厳しい現実があるのは誰でも同じだと思います。

趣味であるうちは、素人だからと言いのがれをし、気の向くままにできますが、仕事ともなれば、まさにプロフェッショナルとして話したり書いたりすることに重大な責任が生じます。さらに世のため人のために役立つことが求められます。私の専門とする「民俗学」は人々を幸せにする「経世済民の学」(柳田国男)といわれているのです。

民俗文化の意義

その民俗学につながる話をこれから述べることにします。今年3月11日に発生した東日本大震災は福島第一原発事故も引き起こし、想像を絶する被害を各地にもたらしました。とりわけ私たち東北地方に住む人間は奈落の底に突き落とされました。自然の猛威に対して人間の知恵や科学技術の限界を、いやというほど思

い知らされました。

しかし、古い時代にさかのぼって日本人の思想や生活態度を思い起こしてみると、自然と対決しそれを克服する生き方ではなく、逆らうことなく自然を畏怖し、そして調和して生きていこうとする生活態度がはっきりしていました。人智の及ばないものや大いなる自然に対して畏敬の念や感謝の念をもって生きてきたのです。

じつはその生活姿勢は、今も民俗芸能や民俗行事などの民俗文化に見出すことができます。たとえば、冷害による飢饉に苦しんだ東北地方では、「田植踊り」という固有の芸能を奉納することによって、田の神に対して祈りと感謝の気持ちを捧げてきました。山間の集落にある「山の神勧進」行事では、山の神様に日々の安らぎと自然がもたらす恵みを祈ってきました。またお盆になると「シシ踊り」を演じて、死者への慰霊・鎮魂供養を怠りませんでした。

大震災と地域文化

ここから、大震災で大きな被害を受けた地域のことについて触れてみます。今年5月1日に岩手県大槌町では、「白澤鹿子踊」が町の犠牲者の追悼と復興を祈って地域の人たちを前にして踊られました。白澤鹿子踊は江戸時代から継承されてきた岩手県に数多いシシ踊りの一つです。同町では人口約15,000人のうち733人が亡くなり、952人が行方不明となりました(5月1日現在)。明治三陸地震(1896年)や昭和三陸地震(1933年)で被災したときも犠牲者を追悼するため踊られた

と聞いております。当日は保存会員や子どもたち約40人が一生懸命に踊りを演じたことが人々に感動を与えました。

町内のある女性は、津波で犠牲になったご主人と行方不明になっている義父母の写真を膝にして最前列で白澤鹿子踊を見物しました。家族はいつも最前列で見ていたので当日も見せたかったのだそうです。

この日、^{はやしかた}囃子方として笛を担当した男性の奥様も津波で行方不明のままでした。その男性のコメントを報じる新聞には、「これまで一緒に祭りに参加してきた妻を思い出して涙が出た。気持ちを切り替えて一歩前進したい」（5月2日付、読売新聞）。「地震、津波なんかには負けてたまるか。再出発の、これがおらほの鹿子踊だ」と記されていました（5月2日付、朝日新聞）。この言葉以上に民俗芸能の役割の大きさを示す言葉があるでしょうか。私自身も本当に感動し、勇気づけられました。

お盆に寄せる各地の思い

今年8月に迎えたお盆では、弔い、追悼、あるいは鎮魂供養というものの意義や重みが格別に身にしみて感じられました。迎え火・送り火、灯籠流しや打ち上げ花火、また京都と平泉に灯された大文字焼きなどが行われました。亡き人々を弔う心は東北地方のみならず全国各地に満ち満ちていたように感じました。

なかでも8月11日、先に述べた大槌町では「三陸海の盆」が行われ注目を集めました。大震災で犠牲になった方々の供養と、被災地の今後の復興を願って、岩手県宮古市から宮城県三陸町までの11団体の「鹿子踊」や「虎舞」の演技が賑やかに披露されたのです。ここには、大震災後に断ち切られた人々のきずなを、地域が守り育ててきた芸能文化でもう一度取り結ぼうというねらいがあったように思います。

このように、地域が守り育ててきた芸能をはじめとする民俗文化は、人々を励まし、生きようとする気持ちを奮い立たせる力をもっていることを、私たちはあらためて知ることができます。

ある集落—残る人・去った人とのきずな

ここで、私が数年前から調査を行っている、ある山間集落のお話をします。これまで述べてきたような、民俗文化が地域の人々のきずなを深めているいい例だと思うからです。

山形県米沢市の綱木地区には「綱木獅子踊^{し しおどり}」という民俗芸能が伝承されています。この踊りは、現在はお盆の8月15日に集落にあった円照寺というお寺の跡地で行われています。そもそも盆の死者供養・先祖供養の踊りとして円照寺境内のほか家々を踊り歩いていました。かつては14日から16日まで3日間踊り続けるのが常でした。

ところで、この綱木地区は米沢市の中心部から約20キロ山手に入った集落で、現在わずか6戸・10人が暮らしているにすぎないのです。最近では「限界集落」という言葉で表現される厳しい現実と直面しています。このような集落が民俗芸能であるシシ踊りを今も維持していること自体が驚きです。シシ踊りは一体どのようにして継承されているのでしょうか。

じつは、すでに綱木の集落を離れて米沢市の市街地に住んでいる人たちが支え続けているのです。その人たちは、離村したあとに生まれ育ったふるさとの民俗芸能をなんとかしなければと考えたのです。その背景には、綱木獅子踊保存会会長さんはじめ関係者の「なんとか集落の地域文化を継承したい」という強い思い入れがありました。その思いが離村者たちの心を動かしたのです。

こうして、米沢市南原地区のコミュニティセンターで伝承者養成の練習が始まりました。その結果、平成19年8月15日の公演には、笛・踊りの新メンバー9人を含む41人ものメンバーが公演に加わってくれました。昨年と今年も、同じように地元と離村者との合同チームが実現し盛況のうちに終わることができました。平成21年は、特に笛の奏者が綱木関係者以外から2人も加わり、支援の輪は広がりをみせています。

このように、綱木集落に残る人・去った人との心を今なおしっかりとつないでいるのが民俗文化なのです。

地域がもつ文化の力

ここ数年の間、私は過疎化が激しい山間の綱木集落で踊り続けられる民俗芸能の力をまざまざと見せつけられています。一方、3月以来大震災で住居を失った方々が仮設住宅での生活を余儀なくされ、かつての地域生活がバラバラに解体されてしまった現実が目の前にあります。

このようなときこそ、人々のきずなとか故郷意識^{ふるさと}（地域共同体意識）を少しでも取り戻すために、祭り行事や芸能などの「文化力」がいつそう必要なのではないかと思っております。



綱木獅子踊の演技
(2009年8月15日、綱木地区円照寺跡地)

図書館学生アルバイトの「私のおすすめ本」

現在図書館には、4人の学生アルバイトがおり、貸出返却などのカウンター業務をはじめさまざまな仕事にあたっています。

この度アルバイトの皆さんから「おすすめ本」を紹介してもらいました。ご覧ください。

村田陽香（子ども教育学科3年）

「博士の愛した数式」 小川洋子 著 新潮社 2008.8

この本は、記憶を失った天才数学者の博士と主人公の「私」と博士が「ルート」と愛称をつけた主人公の息子の3人の日々を描いたとても心が温くなる話です。

家政婦の「私」が派遣された先は、80分しか記憶が持たない博士の家だったのです。数学を愛し、他に全く興味を示さない博士に「私」は困惑してしまいます。記憶を失ってしまう博士にとって「私」は常に新しい家政婦。そのため博士は靴のサイズや誕生日を家に来るたびに尋ねるのです。博士は80分しか記憶が持たないというハンディがありながら、数学を言葉として、自分ができるやり方で関わっていく姿を見ていると、このハンディをかわいそうだとか落ち込みそうだという最初の印象がなくなり、読み終わる時には幸せな気持ちになる本です。ぜひ読んでみてください。



難波いずみ（子ども教育学科1年）

「神様のカルテ」 夏川草介 著 小学館 2000.9

この本は、自然あふれる長野・松本の本庄病院で、内科医として働く栗原一止が主人公です。24時間365日体制で医師不足の問題を抱える病院で、前向きな職員たちと共に診療をこなす一止にとって、最愛の妻・榛名らと語ることが日々の楽しみでした。そんなある日、一止はある患者と出会い、人生の岐路に立つことになる、というお話です。

この本は最近、嵐の櫻井翔と宮崎あおいが夫婦を演じ、地方医療の現実と向き合いながら成長する医師の姿を描くヒューマンドラマとして『白夜行』や『60歳のラブレター』などの深川栄洋によって映画化されました。

大学病院と地域医療の役割や、延命治療や看取りについて悩む主人公・一止の姿を通して「命」について深く考えさせられます。小説を読んだ後に映画を観るという楽しみ方もおすすめです。

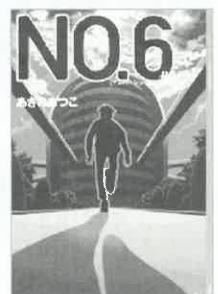


阿部楓子（総合文化学科1年）

「No.6」 あさのあつこ 著 講談社 2003.10

私のおすすめ本は「No.6」です。主人公の紫苑は、12歳の誕生日に『矯正施設』から抜け出し怪我をしたネズミと名乗る少年に出会います。紫苑は彼を介抱しますがそれが治安局にばれてしまい、高級住宅街『クロノス』から『ロストタウン』へと追いやられてしまいます。それから4年経った時、とある事件に巻き込まれ、ネズミと再会します。それをきっかけに西ブロックで様々な人と出会い、関わって理想都市と呼ばれているNo.6の隠された事実を知っていきます。

あさのあつこさんの展開する、独特の世界観が非常に魅力的な物語です。紫苑とネズミの関係や他の登場人物の心理描写も細かく奥が深いです。この物語はアニメ化もされています。アニメも含めて私はこれをおすすめします。ぜひ一度読んでみてください。



鈴木美咲（総合文化学科1年）

「キケン」 有川 浩 著 新潮社 2010.1

私がおすすめする本は有川浩さんの『キケン』という本です。この本では、ある大学の部活、「機械制御研究部」略して「キケン」の部員が巻き起こす、危険な騒動の数々が、キラキラとした青春の一ページとして語られていきます。彼らの学園生活を通しての、ハチャメチャだけれども常に全力投球のエピソードは読んでいて本当に楽しいです。女の私には入り込めない、男の子ならではの「青春」の様子には、憧れを抱きました。また、大人の男性にとっても、自分が「男の子」であった頃を思い出してしまうような本ではないかなと思います。

この本以外にも著者の作品には映画化もされた『阪急電車』やドラマ化された『フリーター、家を買う。』、多くのシリーズを生み出した『図書館戦争』など、様々な魅力にあふれた作品がたくさんあります。全て本学の図書館に置いてある本ばかりですので、ぜひ一度読んでみてください。



平成22年度 図書館報告

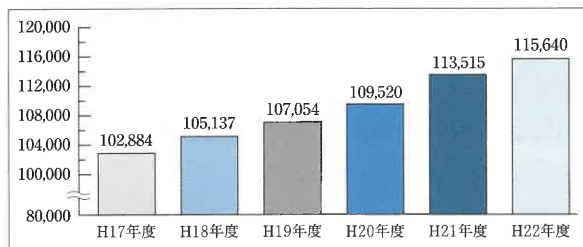
(東北文教大学・東北文教大学短期大学部)

資料収集

図 書	2, 1 2 5冊
学術雑誌	8 7 種
新 聞	1 6 種
紀 要	5 0 4冊
A V 資料	8 3 点

蔵書数の推移

(年度末：冊)



利用状況

年間入館者数

(人)

平成18年度	49,924
平成19年度	48,673
平成20年度	54,384
平成21年度	53,487
平成22年度	54,256

年間館外貸出冊数

(冊)

平成18年度	8,808
平成19年度	7,355
平成20年度	6,332
平成21年度	6,163
平成22年度	4,034

1人当たりの年間貸出冊数

(冊)

平成18年度	11
平成19年度	9
平成20年度	9
平成21年度	9
平成22年度	9

1日平均貸出冊数

(冊)

平成18年度	37
平成19年度	30
平成20年度	25
平成21年度	24
平成22年度	28

年間ビデオ・DVD貸出 (館内)

(点)

平成18年度	1,007
平成19年度	748
平成20年度	414
平成21年度	533
平成22年度	560

貸出資料ランキング

〈 図 書 〉

書 名	著者名	貸出回数
1 アメリカの小学生が学ぶ歴史教科書	ジェームズ・M・バーダマン／編	108
2 ビジネス実務マナー検定実用問題集3級	実務技能検定協会／編	67
3 アメリカ黒人の歴史	本田創造／著	23
3 こどもが夢中！保育のあそび展開アイデア集	井上明美／編著	23
5 うたって演じて！パネルシアター	月下和恵／著	22
6 ビジネス実務マナー検定実用問題集1・2級	実務技能検定協会／編	21
7 だるまさんが	かがいくひろし／さく	17
8 不思議がいっぱいパネルシアター	月下和恵／著	15
8 保育園・幼稚園の実習完全マニュアル	林幸範／編著	15
8 神様のカルテ	夏川草介／著	15
11 ふれあいパネルシアターこれくしょん	阿部恵／著	14
11 阿部直美のふれあい手あそび歌あそび101	阿部直美／著	14
11 みんなで手遊びOne・Two・トン	妹尾美智子／著	14
14 みんなのパネルシアター	阿部恵／著	13
14 一年中楽しい手作りカード	鈴木孝美 [著]	13
14 植物図鑑	有川浩／著	13
14 たのしい手あそびうた	阿部恵／編著	13
14 フリーター、家を買う。	有川浩／著	13
14 競争しても学力行き止まり	福田誠治／著	13
20 手作りおもちゃアイデア集	立花愛子／著	12
20 どうようnew絵かきうたブック	門山恭子／作・絵	12
20 0・1・2歳児の造形あそび百科	阿部寿文／著	12
20 てのひらどうぶつえん	ハン・ヒテ／さく	12
20 手作りカードの贈りもの	鈴木孝美 [著]	12
20 使える！保育のあそびネタ集	井上明美／編著	12
20 「こんなとき!!」の場面別手遊び	阿部直美／著	12
20 トマトさん	田中清代／さく	12
28 くれよんのくろくん	なかやみわ／作・絵	11
28 小林雅代のかならずできるベストパネルシアター	小林雅代／著	11
28 THE手あそび・歌あそびBEST50+1	内尾真子／編著	11
28 図書館戦争	有川浩／著	11
28 実習に役立つ表現遊び	岡本弘子／編著	11
28 おばけのてんぷら	せなけいこ／作・絵	11
28 もったいないばあさんのいただきます	真珠まりこ／作・絵	11
28 4歳児のあそびアイデア集	全国幼児教育研究協議会	11

学生からの主なリクエスト

〈 図 書 〉

悪徳商法のすごい手口	国民生活センター／監修
絵本への道	加古里子／著
贈る飾る楽しむ実用折り紙	園部光伸／編
オタクの迷い道	岡田斗司夫／著
折れた竜骨	米澤穂信／著
音楽する社会	小川博司／著
だるまちゃんとかみなりちゃん	かこさとし／さく・え
きんいろきつねのきんちゃん	かこさとし／さく・え
あかいありとくろいあり	かこさとし／さく・え
からたちばやしのとんとむし	かこさとし／さく・え
サザンちゃんのおともだち	かこさとし／さく・え
だるまちゃんとうさぎちゃん	かこさとし／さく・え
だるまちゃんとりんごちゃん	かこさとし／さく・え
だるまちゃんとのこちゃん	かこさとし／さく・え
だるまちゃんといだこちゃん	かこさとし／さく・え
はははのはなし	かこさとし／さく・え
おたまじゃくしの101ちゃん	かこさとし／さく・え
にんじんばけのバビペポ	かこさとし／さく・え
キケン	有川浩／著
空想オルガン	初野晴／著
鯨と捕鯨の文化史	森田勝昭／著
図解 クトゥルフ神話	森瀬鏡／著
クトゥルフ神話TRPG	サンディ・ピークセン／著
この芸人を見よ!!	ラリー・遠田／著
ジェスチャー・行為・意味	齋藤洋典／著
シャングリラ	池上永一／著
女性が元気になる心理学	和田秀樹／著
新沢としひこのあそびうただいすき!	新沢としひこ／著
新沢としひこの歌ってコミュニケーション	新沢としひこ／著
ストーリー・セラー	有川浩／著
世界20カ国ノンバーバル事典	金山宣夫／著
0・1歳児のふれあい歌あそび	塩野マリ／編著
2・3歳児のふれあい歌あそび	塩野マリ／編著
零崎人識の人間シリーズ 1~4	西尾維新／著
それぞれのファン研究	東園子／著
たのしいこどものうた大全集パート200	永岡書店／編
ダブルジョーカー	柳広司／著
別冊 図書館戦争II	有川浩／著